

科目ナンバリング		U-LAS05 10001 LJ40							
授業科目名 ＜英訳＞		文化人類学Ⅰ Cultural Anthropology I				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 岩谷 彩子	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		地域・文化(基礎)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	木3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
文化人類学とは、究極的には自己について、自己が置かれた環境について問い直す学問である。それは他者を「理解」することがはらむ困難に立ち向かい、なおかつその重要性を問いつづけることをも意味する。本講義では、文化人類学の基本的な考え方と諸理論を紹介し、異なる社会環境にある人々の生活実践や思考様式を、自己が身を置く社会の諸問題の延長線上にとらえることを目指す。									
【到達目標】									
グローバル化の進行とともにますます接触と衝突の機会が増しつつある「異文化」に対して、自分なりの応答の仕方を身につける。									
【授業計画と内容】									
第1回 文化人類学の方法と課題 第2回 人類の社会性—言語・親族・家族 第3回 人間の多様性—ジェンダーとセクシュアリティ 第4回 文化的他者の問題—植民地主義とポストコロニアリズム 第5回 エスニシティと人種 第6回 政治と社会 第7回 経済と交換 第8回 信仰と世界観 第9回 芸術と遊び 第10回 身体と文化 第11回 グローバリゼーションと文化変容 第12回 メディアとネットワーク化する社会 第13回 ものからとらえる人間世界 第14回 環境・社会空間・人 期末試験 第15回 フィードバック									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
平常点・小レポート（20％）、定期試験（80％）で評価する。									
【教科書】									
使用しない									
【参考書等】									
（参考書） 内堀基光・奥野克己『文化人類学』（放送大学教育振興会） ゴドリエ、モーリス『人類学の再構築—人間社会とは何か』（明石書店） 文化人類学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓									

文化人類学Ⅰ(2)

スperlベル、ダン 『人類学とはなにか—その知的枠組みを問う』（紀伊國屋書店）

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に提示された文献については、できるだけ目を通しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

ディスカッションを促進する目的で、人数制限を実施します。
講義の内容について明確でない点は、授業中・授業後などの機会を利用して、積極的に教員に質問してください。あるいは、個別に教員にメールでお問い合わせください。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部